

平成27年度道徳教育
パワーアップフォーラム実践発表

問題解決的な学習を取り入れた
道徳の時間について



安芸高田市立可愛小学校
教諭 児玉 克恵



発表の流れ

- 1 はじめに
- 2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫
 - (1) 本校が捉える問題解決的な学習とは
 - (2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫
- 3 授業の実際
 - 第1学年「かぼちゃのつる」 1ー(1) わがままをしないで
 - 第3学年「まどガラスとさかな」 1ー(4) かくさず正直に
- 4 今後に向けて

1 はじめに

本校の研究

『道徳教育改善・充実』総合対策事業

研究主題

「自己肯定感を高め、よりよい生き方を考える児童の育成」
～つながり合いを通して自他のよさに気づかせる授業づくり～

つながり

- 導入と終末のつながり
- 児童と児童とのつながり
- 道徳の時間と他の教育活動とのつながり

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(1) 本校が捉える問題解決的な学習とは

ア 中央教育審議会答申(平成26年10月)と学習指導要領解説 特別の教科 道徳編から

中央教育審議会答申(平成26年10月)

「特別の教科 道徳」においては、道徳的習慣や道徳的行為に関する指導、問題解決的な学習や体験的な学習、役割演技やコミュニケーションにかかわる具体的な動作や所作のあり方に関する学習など、多様で効果的な指導方法を積極的に取り入れる。

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(1) 本校が捉える問題解決的な学習とは

ア 中央教育審議会答申(平成26年10月)と学習指導要領解説 特別の教科 道徳編から

学習指導要領解説 特別の教科 道徳編から(P91)

道徳科における**問題解決的な学習**とは、ねらいとする道徳的諸価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見つけ、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の考えや感じ方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うことである。

例えば、ねらいとする道徳的価値の理解を図る際に、道徳的価値を実現することのよさは理解できるものの、人間として弱さがあり、実現することが難しいという場合がある。このような課題について児童が自分の体験やそれに伴う考え方や感じ方を基に自分なりの考えをもち、友達との話し合いを通して道徳的価値のよさや難しさを確かめるような問題解決的な学習が考えられる。

児童が問題意識をもって学習に臨み、ねらいとする道徳的価値を追求し、多様な考え方や感じ方によって学ぶことができるようにするためには指導の工夫が大切である。

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(1) 本校が捉える問題解決的な学習とは

イ 本校での問題解決的な学習

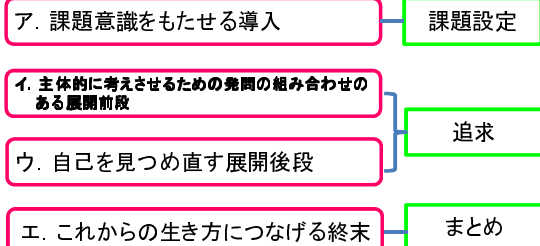
児童に課題意識をもって臨ませ、課題追求の流れとなるように発問を組み合わせ、多様な考え方や感じ方を学びとらせる学習

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫

本校の道徳の時間における問題解決的な学習の流れ

一般的な問題解決的な学習の流れ



2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫 ア

ア. 課題意識をもたせる導入

問題解決的な学習のスタート

・アンケートによりクラスの実態を示す

・価値項目について意識づけ
「～は、どういふことなのだろう。」
「どうして～が大切なのだろう。」

課題意識を
もたせる

課題追求

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫 イ

イ. 主体的に考えさせるための発問の組み合わせのある展開前段

- A 共感的な発問
- B 分析的な発問
- C 投影的な発問
- D 批判的な発問

4種類の発問の組み合わせを工夫

課題追求の流れ

A 共感的な発問

主人公の気持ちや考えに共感し、それを想像する。

「どんな気持ちだろう。」

「どんなことを考えているのだろう。」



B 分析的な発問

主人公の考え方や話の意味を考えさせそこから学ぶ。

「なぜそうにしたのか。」

「そのことにどんな意味があるのか。」

主人公のどんな心が育ったのかを考え、道徳的価値を学ぶ。

「どんな心が育ったから頑張れたのだろうか。」

「初めと今とは、主人公はどこがちがうのか。」

道徳的価値に迫るために問う。

「なぜそう考えたのか。」

「どうして大事だと思うのか。」



C 投影的な発問

主人公を自分に置き換え自分のこととして考え判断する。

「自分だったらどう考えるか。」

「自分が〇〇ならばどうするか。」



D 批判的な発問

主人公の考え方や行為に対して自分の考えをもつ。

「〇〇のしたことをどう思うか。」

「本当にそうしてよかったのか。」



2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫 ウ

ウ. 自己を見つめ直す展開後段

「自分たちもこんなことを考えたことはなかっただろうか。」

「自分にとってどういうことなのだろう。」

道徳的価値をこれからの生き方に生かそうとする意欲につなげる学習場面

日常生活はもちろん、体験活動、他教科等で学習したことを通して感じたこととつなげて考えさせる。



道徳的価値の一般化を図る

2 問題解決的な学習を取り入れた道徳の時間の工夫

(2) 問題解決的な学習を進めるにあたっての手立てや工夫 エ

エ. これからの生き方につなげる終末

導入時にもった課題意識について、学んだことや気づいたことについてまとめ、これからの生き方につなげる。



3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

わがままをしたら自分も周りのみんなも気持ちがよくないことや人に注意されたら素直に聞くことが大切であることに気づき、わがままをしないで行動をしようとする態度を育てる。

課題意識をもつ

わがままはどうしていけないのか、考えよう。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

共感的な発問

かぼちゃはどんな気持ちでつるを伸ばしていますか。

どんどん伸びたいな。

いっぱい伸びておいしいかぼちゃをたくさんつけよう。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

批判的な発問

つるを伸ばしていったかぼちゃのことをどう思いますか。

自分の好きな方にどんどん伸びてはいけません。

みんなに迷惑をかけるからいけない。

みんなの言うことを聞かないので、みんなが困る。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

分析的な発問

なぜつるをのびしやいけなの？

みんなに迷惑がかかるから。

ふまれて自分がいたい思いをするから。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

投影的な発問(中心発問)

でも、つるを伸ばさないとかぼちゃができないよ。

自分がかぼちゃだったらこの後どうしますか。

じゃあ他の畑に伸ばさないと自分の畑に伸ばしたらいいよ。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1ー(1)わがままをしないで

自己を見つめ直す展開後段

パッティングセンターに行きたいとお父さんに言ったら、今日はダメと言われた。すごく行きたかったけどがまんした。そしたらお父さんが休みの日に連れて行ってってくれて嬉しかった。

おかしを買って飲しかったけどがまんした。少しでも妹と分けて食べたら、妹も喜んでくれて嬉しかった。がまんしてよかった。

3 授業の実際 第1学年「かぼちゃのつる」1-(1) わがままをしないで

これからの生き方につなげる読書

わがままをしたらみんなに迷惑がかかるし、自分も痛い目にあっていやな気持ちになる。いい気持ちになりたいから、わがままをしないがまんしたい。

あっ、ぼく、かぼちゃさんになっちゃった。

3 授業の実際 第3学年「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

うそやごまかしをしていると心が暗くなるけど、正直になると明るい気持ちになれるということに気づき、正直に行動しようとする態度を育てる。

課題意識をもたせる導入

どうして正直が大切なだろう。

課題意識をもつ

3 授業の実際 第3学年「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

共感的な発問

まどガラスを割って逃げるとき、どんなことを考えたでしょう。

あやまらないとモヤモヤが続いてしまう。でもおこられるかな。

逃げちゃいけない。あやまらなければ。

3 授業の実際 第3学年「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

批判的な発問

その後何度も割れたまどガラスを見に行っているが、あやまる気持ちがあるのだろうか。

最初に謝ればよかったと後悔している。

あやまりたいけど、怒られるのが心配だから。

3 授業の実際 第3学年「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

共感的な発問(中心発問)

飼っている猫が魚をとったことを謝りに来たお姉さんの姿を見て、主人公の千一郎は、何を考え込んでいるのでしょうか。

お姉さんみたいにあやまりたいけど……やっぱこわいな。

ぼくとは大違いだ。ぼくは正直に言えなかった。

3 授業の実際 第3学年「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

投影的な発問

もう何日も経っているのに謝れると思う？自分だったらどうしますか。

私だったらもう謝れないかも。

ぼくだったら嫌な思いが続くのはいやだから謝ります。

割れた家の人もしつこいかなと思ってるので、早く謝りたい。

わたしだったら、割ったときに逃げないで謝ると思う。

3 授業の実際

第3学年 「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

自己を見つめ直す展開後段



家の大切な物をなくして「どうしようか。」と思っ
てすぐには言えなかった。
だけど、そのままにしておくのもいやだから
次の日に勇気を出して言った。
言ったらすっきりした。
お母さんも安心したように見えた。

3 授業の実際

第3学年 「まどガラスとさかな」1-(4) かくさず正直に

これからの生き方につなげる終末

正直に言ったら、相手もうれしいし、
自分もモヤモヤがなくなる。

正直に言わないと心にホカんと
穴が開いたような感じになるから、
正直に言いたい。



時間がたったら言いにくくなるので、
すぐに話すのがいい。



4 今後に向けて

成果



- 導入で課題意識をもたせることで、今日は何について学習するのが明確になり、思考に深まりが見られた。
- 終末において、導入でもたせた課題意識について振り返ることで、迫りたい道徳的価値の自覚を深め、自己の生き方につなげることができた。
- 問題解決的な学習過程の中で、主人公について分析したり、共感的や批判的、投影的に見たり考えたりする発問を組み合わせることによって、児童同士の話し合いが活発になり、多様な考えを引き出し課題追求することができた。

4 今後に向けて

課題



- 発問が多くなり、展開後段や終末の時間の確保が難しい授業もあった。展開前段の発問をもっと精選するとよい。
- 役割演技や動作化を効果的に取り入れて話し合わせることで、さらに価値の深まりのある学習展開になるのではないか。
- 問題解決的な学習が効果的な資料や価値項目について検討するとよい。
- 自己を見つめ直す展開後段で、価値項目によっては体験活動や他教科とつなげて考えさせるのが難しい場合がある。日常生活とどうつなげて考えさせるとより深まりが出るか、さらに工夫が必要である。



ありがとうございました